

中泊町 平成24年度 財政健全化判断比率の状況					実質公債費比率						
比率の状況	区分	比率(%)	早期健全化基準(%)	財政再生基準(%)	区分	決算額(単位:千円、%)			左の内訳(単位:千円)		
						平成22年度	平成23年度	平成24年度			
	実質赤字比率	—	15.00	20.00	公債費充当一般財源額(繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く) ①	1,328,135	1,197,950	1,255,112	③の内訳	H24決算額	
	連結実質赤字比率	—	20.00	35.00	満期一括地方債の1年当たりの元金償還金に相当するもの(年度割相当額等) ②				水道事業特別会計	17,073	
	実質公債費比率	14.3	25.0	35.0	公営企業債の財源に充てたと認められる繰出金 ③	66,349	53,305	56,698	漁業集落排水事業	10,064	
	将来負担比率	130.9	350.0		一部事務組合等の起こした地方債の償還に充てたと認められる繰出金 ④	47,819	47,764	44,676	農業集落排水事業	22,995	
実質赤字比率					債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるもの ⑤	2,501	3,289	3,255	国民健康保険(診療施設)	6,566	
区分		決算額(単位:千円、%)		備考	一時借入金利子 ⑥	1,267	1,244	819	⑤の内訳	H24決算額	
実質収支額	A	158,123			災害復旧費等に係る基準財政需要額 ⑦	625,346	589,315	583,243	国営事業等に対する負担金	2,535	
標準財政規模	B	4,755,979			災害復旧費等に係る基準財政需要額(準元利償還金に係るものに限る) ⑧	6,689	6,689	4,610	利子補給に係るもの	720	
実質赤字比率 A÷B	—				事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費 ⑨	153,217	138,517	130,991			
連結実質赤字比率					事業費補正により基準財政需要額に算入された公債費(準元利償還金に係るものに限る) ⑩	15,250	14,163	16,636			
区分		決算額(単位:千円、%)		備考	密度補正により基準財政需要額に算入された元利償還金 ⑪	7,239	7,259	7,241			
実質収支額	A	158,123			密度補正により基準財政需要額に算入された準元利償還金(地方債の元利償還額を基礎として算入されたものに限る) ⑫		17	79			
標準財政規模	B	4,755,979			小計 = ①~⑥の計 - ⑦~⑫の計	A	638,330	547,592			617,760
実質赤字比率 A÷B	—				分子						
連結実質赤字比率					標準財政規模	⑬	5,236,893	4,874,052			4,755,979
区分		決算額(単位:千円、%)		備考	小計 = ⑬ - ⑦~⑫の計	B	4,429,152	4,118,092			4,013,179
実質収支額	A	158,123			単年度実質公債費比率 A÷B×100	C	14.41201	13.29723			15.39328
標準財政規模	B	4,755,979			実質公債費比率(3カ年平均) H20~H22のCの合計÷3			14.3			
実質赤字比率 A÷B	—				将来負担比率						
連結実質赤字比率					区分	決算額(単位:千円、%)					左の内訳(単位:千円)
会計区分	会計名	決算額(単位:千円、%)	実質収支又は資金剰余・不足額	資金不足比率	平成24年度末 一般会計の地方債現在高 ①	11,637,169			③の内訳	決算額	
一般会計等	一般会計	158,123			債務負担行為に基づく支出予定額 ②	12,179			水道事業特別会計	214,190	
公営企業会計	法適用企業	水道事業	226,116	—	特別会計の地方債の元金に対する一般会計等の負担見込額 ③	738,740			漁業集落排水事業	192,523	
	法非適用企業	漁業集落排水事業	361	—	組合等の地方債の元金償還に対する負担見込額 ④	77,107			農業集落排水事業	269,045	
		農業集落排水事業	412	—	退職手当支給予定額のうち一般会計等負担見込額 ⑤	1,830,931			国民健康保険(診療施設)	62,982	
その他の特別会計	国民健康保健(事業勘定)	9,796			設立法人の債務等に対する一般会計等負担見込額 ⑥	0					
	国民健康保健(診療施設勘定)	△ 198,657			連結実質赤字額 ⑦	0					
	介護保健事業	18			組合等の連結実質赤字相当額に対する負担見込額 ⑧	0					
	特別養護老人ホーム 静和園事業	5,101			平成24年度末の充当可能基金現在高 ⑨	735,381					
	後期高齢者医療	242			特定の歳入見込額 ⑩	556,808					
連結実質収支	A	201,512			地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額 ⑪	7,751,137					
連結実質赤字(Aが赤字の場合のみ、Aの絶対値)	B	—			分子 小計 = ①~⑧の合計 - ⑨~⑪の合計	A	5,252,800				
標準財政規模	C	4,755,979			標準財政規模 ⑫	4,755,979					
連結実質赤字比率 B÷C×100	—				算入公債費(「3 実質公債費比率」⑦~⑫の計) ⑬	742,800					
連結実質赤字比率					分母 小計 = ⑫ - ⑬	B	4,013,179				
連結実質赤字比率					将来負担比率 A÷B×100	130.8					

※ 実質赤字額、連結実質赤字額がない場合、比率は「—」表示となる。